# 水害時の衛生対策と消毒について

豪雨等により家屋が浸水した場合、細菌やカビが繁殖しやすくなり、感染症にかかる 心配があります。洗浄により十分に汚れを除去し、乾かしてから消毒をしてください。 (清掃が不十分だと、消毒の効果がありません。)

### ★感染症予防には、

# 清掃 と 乾燥 が最も重要です

※「日本環境感染学会ガイダンス」より一部抜粋

#### ●清掃のときの注意事項

- ・ドアや窓を開けて、 しっかり換気
- ・汚泥は十分に除去し、 しっかり乾燥
- ・清掃中のけが予防対策に、手袋・底の厚い靴などを着用
- ・ホコリから目や口を守るために、 ゴーグル・マスクを着用

#### ●床上の場合

室内は生活を行う場所です。泥や汚れを十分に取り除いた後、消毒をしましょう。

- ・水が引いたら、家の中の不用物や濡れた畳を片づけてください。
- ・汚れた家具や床・壁などは水で洗い流したり雑巾で水拭きなどしてください。
- ・食器類や調理器具などは、水洗いしてよごれをきれいに流してください。

#### ●家の周囲や床下の場合

土砂等を取り除いた後、水で洗い流し、しっかり乾かすことが重要です。

床下に流れ込んだ土砂や水分が残ってしまうと、その湿気により、家の基盤や 土台などに影響が出ることがあります。

- ・汚泥等は片づけて、外壁などについた泥は水で十分に洗い流してください。
- ・床下換気口のゴミを取り除き、床下の風通しを良くしてください
- ・床下はスコップ等で汚泥を除去した後、雑巾などで水気をなくし、扇風機など により強制的に換気し、乾燥させてください。
- ★屋外(床下や庭)では消毒は原則不要です。

### ●その他の注意

- ・食事の前や清掃の後などは、しっかりと 手洗い・うがい をしてください。
- ・作業中の水分補給も忘れずに。

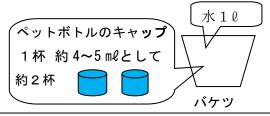
# 主な消毒方法について

※消毒薬は濃度や用法など、薄めて(希釈して)使用するものがあります。 使用の際は、使用上の注意事項を必ず確認し事故が起こらないようにしましょう。

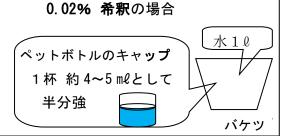
消毒薬	対 象 と 使 い 方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
10%塩化ベンザル	0.1%に希釈する	0.1%に希釈する
コニウム	①泥などの汚れを洗い流す	①泥などの汚れを洗い流すか、雑
(逆性石けん)	か、雑巾などで水拭きしてか	巾などで水拭きしてから、十分に
多くの商品は、	ら、十分に乾燥させる。	乾燥させる。
┃ 「10%塩化ベンザル	②調整した液を浸した布など	②調整した液を浸した布などで
┃ コニウム」として販 ┃ 売されています。	でよく拭く。	よく拭く。
100 C 10 C 0 C 4 9 °		
次亜塩素酸ナトリウ	0.02%に希釈する	0.1%に希釈する
ム	①食器用洗剤と水で洗う。	①泥などの汚れを洗い流すか、雑
多くの商品は「6%次	②希釈した消毒液に5分間漬	巾などで水拭きしてから、十分に
亜塩素酸ナトリウ	けるか、消毒薬を含ませた	乾燥させる。
┃ム」として販売され ┃ています。	布で拭き、その後、水洗い・	②調整した液を浸した布などで
(家庭用塩素系	水拭きする。	よく拭く。
漂白剤でも可)	③よく乾燥させる。	③色あせが気になる場所は、水で
		2度拭きする。
消 毒 用	希釈せず、原液のまま使用	希釈せず、原液のまま使用
アルコール	①洗剤と水で洗う。	①泥などの汚れを洗い流すか、雑
	②アルコールを含ませた布で	巾などで水拭きしてから、十分に
	拭く。	乾燥させる。
	※火気のある所では使用しない	②アルコールを含ませた布で
		拭く。
		※火気のある所では使用しない。

参考:日本環境感染学会 一般家庭における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法 希釈液の作り方

## ●10%塩化ベンザルコニウム 0.1% 希釈 の場合



## ●6%次亜塩素酸ナトリウム



- ※使用時は、ゴム手袋・マスクを着用し、窓やドアを開け、換気をしながら作業してください。
- ※希釈液をペットボトルに移し替えしないでください。誤って飲んでしまう恐れがあります。
- ※希釈液は使い切って、絶対に他の消毒液や洗剤と混ぜないでください。